

■提案：まちなかビジョン

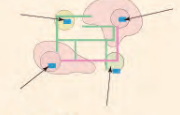
日常の重なり：

消費されるだけの中心市街地から、まちの、みんなのためのまちなかへ。無秩序な自動車ルールを見直し、外部空間に都市の豊かさを演出する。駐車場/街路/広場の連鎖によって人びと、そして場が重なりあい、まちなかが「居場所」となる。

1. 迎える



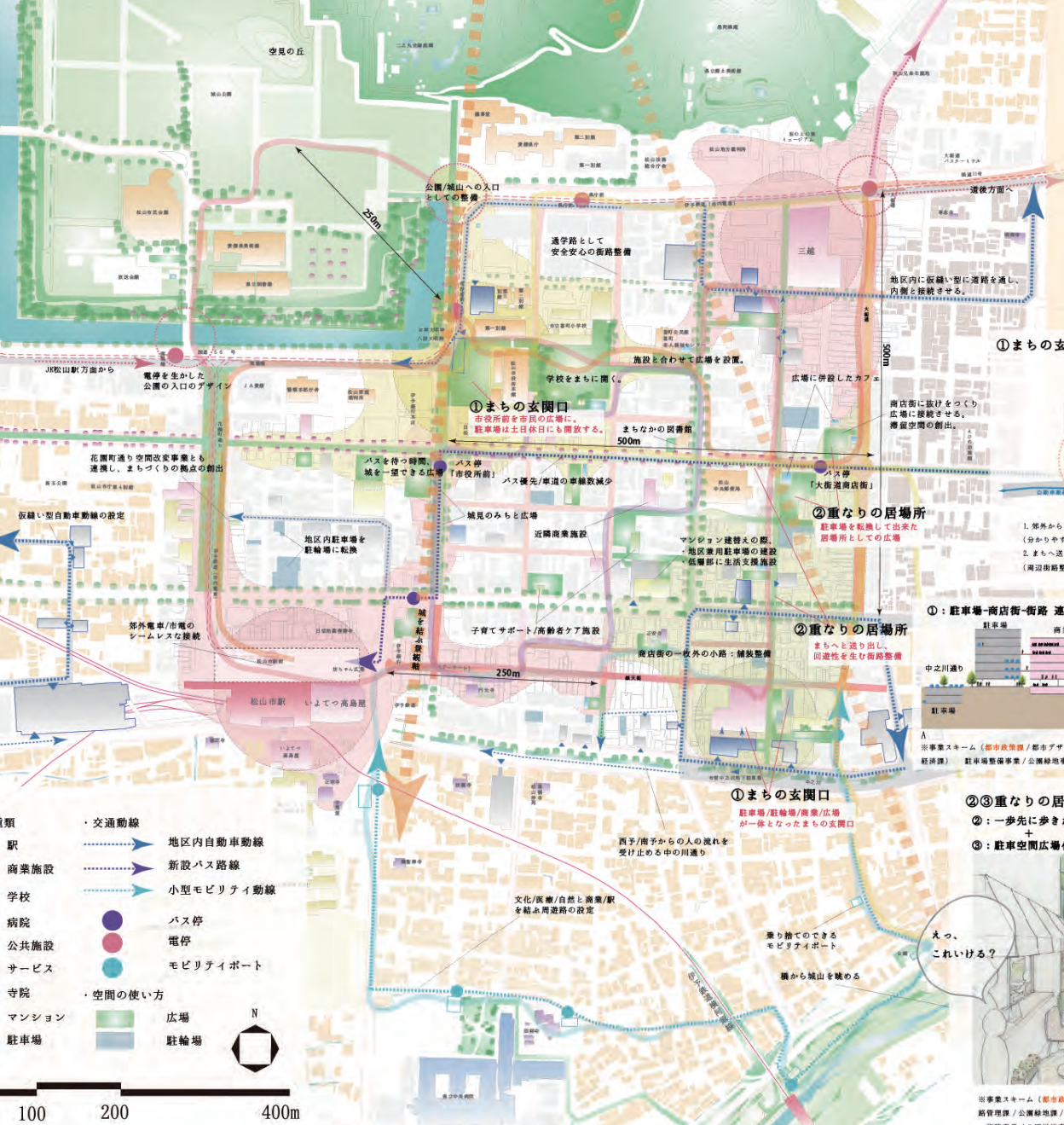
2. 導く



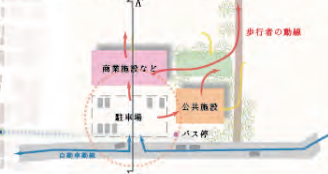
3. 見守る



4. 重なる



① まちの玄関口としての駐車場



1. 郊外からの自動車を迎える (分りやすい/施設との接続/サービス)
 2. まちへ送り出す (商店街整備、広場との連続による関係性強化)
- ※中心市街地統合再生計画で都市デザイン課と協働



- ## ②③重なり居場所
- ②：一歩先に歩きたくなる街路事業
 - ③：駐車空間広場化事業



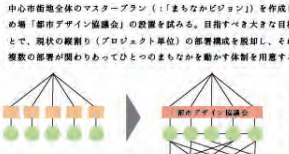
※事業スキーム (都市政策課/都市デザイン課/総合交通課/公園緑地課/用地課/住宅課/地域経済課) 駐車場整備事業/公園緑地事業/景観形成推進事業

■凡例

- 施設種類
 - 駅
 - 商業施設
 - 学校
 - 病院
 - 公共施設
 - サービス
 - 寺院
 - マンション
 - 駐車場
- 交通線
 - 地区内自動車動線
 - 新設バス路線
 - 小型モビリティ動線
 - バス停
 - 電停
 - モビリティポート
- 空間の使い方
 - 広場
 - 駐輪場

■事業の体制とパッケージ

▶「都市デザイン協議会」の設置へ



▶続く事業と関係部署

事業	関係部署	現状
都市デザイン課	まちなか街路舗装整備	計画
都市政策課	主要部画の計画/設計	計画
道路管理課	道路の維持管理	計画
総合交通課	違法駐輪・駐車の規制	計画
公園緑地課	公園緑地事業	計画

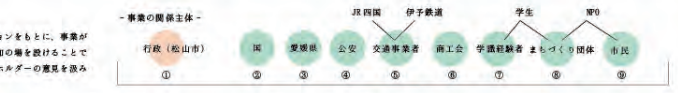
単一の目的ではなくまち単位の計画を考える体制をつくりたいけれど、行政内の関係性が問題?

▶事業への参画主体

行政を専門家が受けて形成するビジョンをもとに、事業がリスト化される。主体に応じて、参加の場を設けることで市民をはじめとする多様なステークホルダーの意見を汲み取る仕組みを考える。

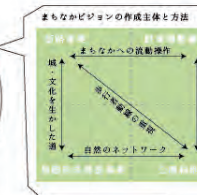
まちなかビジョンの形成主体と関係

1. 中心市街地マスタープランを題材にしたコンペの開催
2. 学生/市民を主体としたアーバンデザインセンターの設立と都市部の提案
3. 専門家と行政の協働によるブラッシュアップ



(仮称) 都市デザイン協議会

1. 駐車場整備事業
2. 景観形成推進事業
3. 公園緑地事業



まちづくりには多様なネットワークが存在します。

みんなが実感できる「まちなか」に。